

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会

幹事会 まちづくり分科会通信

平成19年9月発行 第1号

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会の紹介と組織体系

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会

(委員長 渡邊悌爾三重大学特命学長補佐)

<設置目的>

●本検討委員会は、三重県南部の地域（奥伊勢・東紀州地域）の豊かな地域資源を活かした観光振興や地域づくりについて、広域的な視点から地域が一致団結して取り組むことにより地域活性化施策を検討するため平成18年11月に設立されました。

紀勢道整備に伴う
地域活性化検討委員会

紀勢道整備に伴う
地域活性化検討委員会幹事会

統一イメージ戦略分科会

観光振興分科会

まちづくり分科会

産業振興分科会

第1回『まちづくり分科会』を開催しました。

はじめに

平成19年8月24日（金）の午後7時30分より、三重県尾鷲総合庁舎5階大会議室にて、「第1回 まちづくり分科会」を開催しました。

まちづくり分科会は、幹事会メンバーよりグループ分けされた8名のメンバーで、「**新たな交流スタイルを考える**」を議論の方向性とし、分科会を進めていきます。

第1回目の分科会では、事務局より分科会での作業内容等を説明し、地域の課題や方向性等について活発な意見交換を行いました。



▲まちづくり分科会の開催風景

『まちづくり分科会』の活動内容の紹介

分科会の方向性 新たな交流スタイル考える！

分科会の作業概要の紹介

地域活動団体の調査

南三重地域における地域活動団体・事業者の把握
→例：南三重地域における先進的な方々に動機・課題など現実的な検証を実施

第2回分科会

新たな交流スタイルの検討

南三重におけるもっとも適した（現在ある地域資源を活用した）交流スタイルの検討／ホスピタリティ
例：UJターンの方の活用／二地域居住／滞在型観光

第3回分科会

推進方策の検討

受け入れ体制・情報発信内容の検討
例：宿泊施設（空室情報の提供）
地域活動団体との連携

分科会成果の整理

分科会の作業成果の紹介

地域を最もよく知るメンバーが考えた分科会成果をつくっていきます！

新たな交流スタイル（二地域居住、UJターン、滞在型観光）

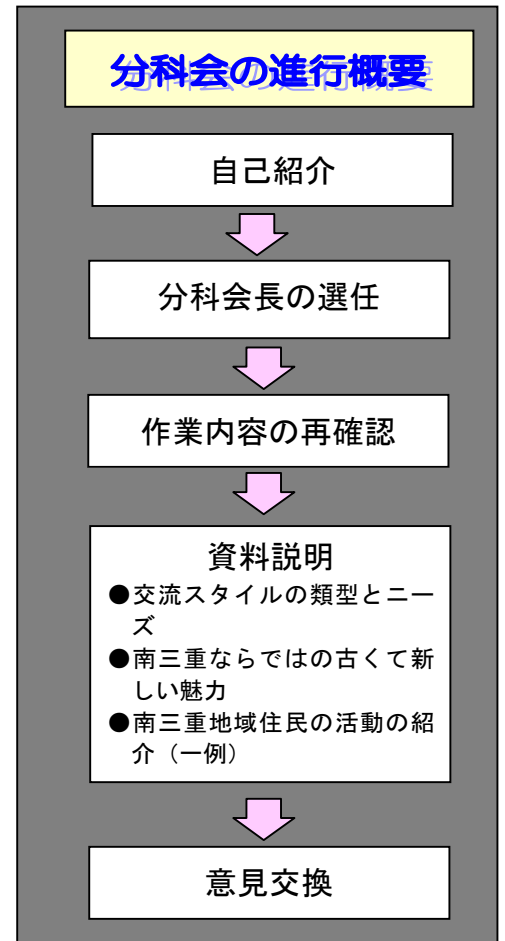
地域活動団体の連携方針
（活動を促進させる取組み）

推進方策（受け入れ体制、情報発信内容）

■意見交換の内容

■分科会の意見交換では、活発な議論がなされました。主な討議概要をご紹介します！

- 民間事業者と連携する方策が必要である。
- 少子高齢化が著しく切実な問題である。学校の統廃合が進み、地域行事が無くなりつつある。このままでは、地域文化の継承が全く行えない。
- 二地域居住、U J I ターンを何としても実現したい。
二地域居住、U J I ターンなどにより、若い人に来てもらえる方策を検討すべきである。
- 海から見た景観は素晴らしい。海からみた観光を取り入れるべきである。地域の住民がもっと誇りを持つべきである。
- この地域は皆、運命共同体として、一緒にならないとやってゆけなくなる。連携することが肝心である。
- 今の交流の問題点として、一過性のイベントで終わってしまっているものが多く、また、情報の発信も充分とは言えない。
- 観光で潤う人だけでなく、他の人にも意味のあるまちづくりが重要である。
- 地域の民宿では、献立がどこも似たり寄ったりで2日食べたら飽きるから3日泊まる人は少ない。
- 農業開業支援が始まり入居者が決まったものの、空き家がないため家探しに苦慮している。



今後の予定

今回の分科会は、平成19年10月18日（木）に開催いたします。

<主な内容>

- 活動団体の調査
- 新たな交流スタイルの検討

意見を募集します！

新たな交流スタイル策定に向けた考え方等についてまちづくり分科会以外の幹事様からも積極的な意見を募集したいと思います。

右記問合せ先まで
ご連絡下さい

● 問い合わせ・連絡先

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会

<事務局>

東紀州観光まちづくり公社

<問合せ先>

□ 紀北事務所（担当：松田）

電話：0597-23-3784

F A X：0597-23-3785

E-mail：matsuk15@pref.mie.jp

□ 紀南事務所（担当：大崎）

電話：0597-89-6172

F A X：0597-89-6184

E-mail：oosaki@kassay.org